

新規健康補助食品による慢性疼痛、炎症の管理

Control of chronic pain and inflammation by a new type of health food supplement

安川明男¹⁾、小松靖弘²⁾

Akio YASUKAWA¹⁾, Yauhiro KOMATSU²⁾

1) 西荻動物病院、2) サン自然薬研究所

1) Nishiogi Animal Hospital

2) Sun R&D Institute for Natural Medicines Co Inc.

現在、日本は高齢社会に移行しており、同様にコ
ンパニオン・アニマルといわれる犬、猫の世界でも
高齢化が進んで来ている。ヒトに限らず、動物にお
いても加齢に伴い体全体は小さくなり、内臓の諸臓
器の萎縮、生理的機能の低下はよく知られる。

胸腺、性腺、筋肉、骨、皮膚などの免疫組織、生
殖組織、支持組織の萎縮はそれぞれが関与する身体
機能の低下を招き、すなわち日和見感染症、腫瘍の
発生、生殖能力の減退、運動機能の低下などである。
中枢神経系の障害がQOLを著しく低下させること
はもちろんであるが、運動機能の障害もまた同様
で、特に運動機能低下は個体の移動を困難にし、食
事、散歩、排尿、排便に至るまで、不自由な生活が
強いられ、QOLを著しく低下させる。機能障害の
影響が著しい関節の保護は重要な課題である。炎
症、疼痛を伴う犬の四肢の関節炎、変形性関節症、
あるいは変形性脊椎症などに遭遇する場面が多い。
これらの疾患に対し現状では非ステロイド系消炎鎮
痛剤（NSAIDs）による治療がなされている。

NSAIDsは消化性胃潰瘍、嘔吐、下痢、食欲不振
など、副作用の発現がよく知られ、犬にNSAIDsを
投与する場合、ヒトと同様に通常、粘膜保護剤など
を併用して胃潰瘍の発現を抑制する処置がとられて
いる。しかし、実際にNSAIDsを使って関節障害の

治療を開始しても、副作用の関係から疾患が完治す
るまでNSAIDsの投与を続けることのできない症例
を多く経験している。

そこで、安全で、長期連用に耐え、治療効果のあ
る薬剤が求められているが、NSAIDsはその性質上
強い消化器障害の発現で長期間の使用に耐えられな
い。それに代わって安全性が高いとされる漢方薬が
関節障害に使われ、特に附子が配合された漢方薬は
鎮痛効果を示すが、附子は修治されて用いられるた
め、時に鎮痛効果が明確に発現されない場合もあ
る。治療効果発現が不確実なところから普及してい
ないのが現状と思われる。最近ではコンドロイチ
ン、グルコサミンを含有する健康食品が応用されて
いるが、これらの健康食品の安全性は確保されてい
るが、効果発現が不確実、あるいは長期にわたって
摂取しなければならないことなどから一般的には評
価が難しいと言わざるを得ない。

安全性が確定している食品で構成され、有効性が
示される健康補助食品の開発が期待されている。
SRD-P001（有限会社サン自然薬研究所製、東京）
は消炎鎮痛効果を有し、長期間にわたっての使用が
可能な代替療法健康補助食品として開発されたもの
で、炎症の抑制に、古来より抗炎症作用が知られる
ショウガ、西洋シロヤナギを配合し、炎症によって

生じる活性酸素を除去するために強い抗酸化活性を有するフランス海岸松（ピクノジェノール）、ハトムギ、また疼痛中枢神経を抑制する西洋シロヤナギ、シナモン、さらに傷んだ関節を修復するのに必要なグルコサミンを配合したものである。SRD-P001はヒトの関節障害による疼痛を緩和する作用のあることが臨床研究から明らかにされている。

SRD-P001は消化管副作用をほとんど示さないが、かなりの長期にわたって投与が続けられた場合、軽度の下痢を伴う消化器症状が数例観察され、さらなる改良が求められた。今回長期に使用した場合でも消化管障害がないSRD-401の新規な配合を開発した。

従来の配合処方からはCOX-Iの抑制が十分に考えられるが、本処方ではCOX-IIの抑制効果を示す生薬エキスを配合することでさらに抗炎症効果が確実に、また抗アレルギー効果も発揮できるようにも考慮した。

今回、その有効性を検証するために、犬の変形性脊椎症を対象にLLLT（Low-level laser Therapy、低反応性レーザー線量治療）、Ga-Al-As diode laser or Helium-Neon laser を使用して、SRD-P001あるいはSRD-P401を併用した場合の有効性について比較検討し良好な結果を得た。SRD-401の鎮痛消炎効果はSRD-P001より強く、消化管障害はこれまで1例も観察されておらず、きわめて安全に、安心して臨床応用が可能である健康補助食品と考える。